



検索エンジンを利用した
“ビジネスの価値検索” で
WEBサイトの抱える様々な問題を解決



キーワードを主体としたコンパクトな検索エンジンをクラウドサーバー内に即展開！ 評価の確認に待ち時間はありません

検索エンジンの欲求に応えられるのは検索エンジンだけ。

自サイトのアップ前に検索エンジンの欲求に応え、GoogleやBingなどの検索エンジンに評価されやすい良質なサイト作りを始めましょう。



Google(or Yahoo)とBingは全く別の検索エンジンですが、検索ユーザーに対してもっとも必要な情報を提示するという目的は同じです。SmoothSeoはその考えを基礎に持つシミュレーション型検索エンジンです。

2013年4月5日に行なったSmoothSeoシミュレーションテストで、12年12月10～13年3月26日間におけるランダムキーワード(単一、複合含む)10件において、SmoothSeoおよびGoogleの最大検索結果1,000位までのインデックス上位1～20位間の同一サイト出現率は75%という結果になりました

【検証キーワード】おしゃれ:80% 広告代理店:75% 2014年:65% テレアポ代行:80% つぶやき:60% SEO研究:70% バレンタインデー2013:80% 新卒 2月採用:70% 格安 海外旅行:80% 信頼:85%



SmoothSeoマークは特許庁における類似商品・役務審査基準(国際分類第10-2013版対応)の商品区分9類「検索エンジンの検索結果シミュレーション用の電子計算プログラム」及び役務49類「検索エンジンの提供」に属する登録商標です。

SmoothSeoを導入していただくメリット

リニューアルやホームページ更新時の順位が事前にわかる！

事前に順位が上がることをわかれば安心してサイトを公開できるし、
下がるのがわかっていたら事前に対策できる！



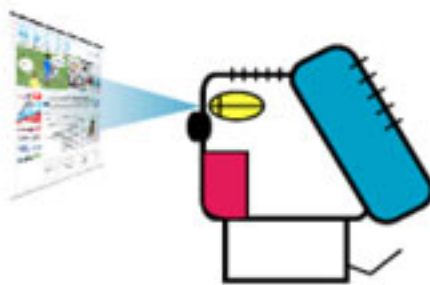
ライバルサイトも全部見える化

ライバルサイトが検索エンジンにどう見られているかが一目瞭然。
相手の良い所がわかればコンテンツの充実やユーザーに対しての魅せ方など応用できる！



マーケットに活かせる検索エンジンの目

検索エンジンは、使う人が求めているものを探すという目的を持っているので、
お店に例えると、欲しいものがあるから来店するというマーケットに直結しやすい性質をもっています。
SmoothSeoは上位表示へのアドバイスだけでなく、使う人の目的を可視化します。



費用対効果が抜群！

例えば他社でSEO対策にかかる費用は1キーワード辺り2,980円～70万円/月と
バラつきがありますが、マーケットに活かせるキーワードは平均20万円/月、
リスティング広告ですと最低10万円/月の予算が必要になります。

SmoothSeoではキーワードの大小関係なく1キーワード辺りのコストが約4,000円/月(上位プラン)です。

しかも、データ解析機能を組み合わせると大きな価値を生み出すマーケティング戦略にもご利用いただけます。



検索の醍醐味である“探す”でマーケティングに結びつく多角的な戦略検索を手に入れる



検索エンジンを活かす (SEM調査・SEO分析) 総合パッケージだから WEBを含む様々なマーケティングに死角をつくらない！



SmoothSeoでシミュレートした順位(今後の順位予測)で
キーワードに関連する業界の
先読みや状況分析、スコアダウンのリスクヘッジに。

各種アイコンからは様々なマーケティングに
対応する戦略機能へ即アクセス！

最大1,000件の表示に対応 (平均500件前後)

※インデックスデータ (スコアリング・表示用) はSmoothSeoが取得したデータで、
Googleキャッシュを取得したものではありません



PickUp機能「仮想コンテナ」



すぐに見れるから様々な効率が大幅アップ

解析を行ないたいページの情報を入れると

- ・何位になるのか (Googleチューニング)
- ・複合キーワードとなる長所の検出
- ・評価が低い箇所はどこか
- ・類似しているサイトはないか
- ・テーマが適切か
- ・アクセス解析情報でLP分析

など、様々なデータが瞬時に確認できます



事前に順位がわかるメリットを有効活用

順位降下リスクの事前察知に

サイトリニューアルを行った後に順位が大きく降下、
最悪は検索圏外に...今までそんなことはありませんでしたか？
SmoothSeoではそんな下降リスクを事前に察知できるので、
サイトの内容変更やリニューアルを行う前や後に
下降の原因を取り除くことができます。

© 順位をシミュレートできるSmoothSeoだからこそ、順位が下降してしまうリスクを目視回避！

SmoothSeo順位2位、G順位2位のサイトが...

2. 《公式》 ホーム / ホーム
www. [公式] .co.jp/ - ソース ソースマップ 類似 マイニング
[G順位 2] [G順位との誤差 0]

SmoothSeo順位、G順位の誤差が無い理想的なサイトだったのに...

リニューアル後



SmoothSeo順位が72位に急降下し...



この段階で察知できる！

G順位は100位圏外に...

順位降下後のリカバリーに

アルゴリズムの変化や微妙なサイト変化などで
検索エンジンの1ページ目に表示されていたサイトが
2ページに転落、そんな経験はありませんか？
SmoothSeoではそんな微妙な検索エンジンの
変化にも対応。
即座にリカバリーを行うことができます。

SmoothSeo順位が14位、G順位が12位のサイトをSmoothSeo順位9位にアップ後、1日でG順位10位に！



リカバリー



順位が下がった原因となったキーワードをアドバイスに従って変更



SmoothSeo
the seo smooth your buisness for web

1つの検索結果の中に同じ内容のページが大量に...そんな表示はユーザビリティ的にも検索エンジンのにもふるいにかけたいところ。
自サイトが他サイトと同一内容扱いされれば、当然どちらかのサイトが落とされる。気づかない間に類似サイトに順位を食われているかも？！

■類似チェックを行いたいページまたは仮想コンテナ

G順位
1位の
サイト

[サポート校 - Wikipedia](#)

[ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B5%E3%](#)

※「サポート校」という仮想検索結果内より抽出

類似度チェック

99.91 %
[0.00位 21.0]

[サポート校 - Wikipedia](#)

wpedia.mobi/ia/NE...82NE5NE3823NDNE3823NECNE3K

90.39 %
[G単位 194]

サポート校 - 百科事典

pedia.mspion.co.jp/svc_wiki/wikipedia/NE30820B5

90.31 %
[O順位 16]

サポート校 - 百科事典

pedi-japan.cnet.com/svc_wiki/wikipedia/XE3082X

89.7 %

~~サポート校 - Wikipedia~~

ja.m.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BE%E3%83%B9%E3%83

87.5 %
[G単位: 40]

[サポート校](#) - BIGLOBE百科事典

jiten.biglobe.ne.jp/j/81/6d/9b/bde915b8c19e6ed4

85.09 %
[目標位 1.25]

サポート校 - フレッシュアイベディ

www.freshave.com/wiki/index.php/NE30024055NE300340DNE

72.47 %

サポート校とは - goo Wikipedia (ウィキペディア)

wood is <http://www.woodinfo.org/>

53.07 %

サポート校 - サポート校の教員と面接指導の関係 - Weblio 辞書

_____public in /-du in /-front (NEOWONDENEOWONDW)

抜群の検出精度

1位のサイトと
ほぼ同じなのに
こんなにも順位が違う！！

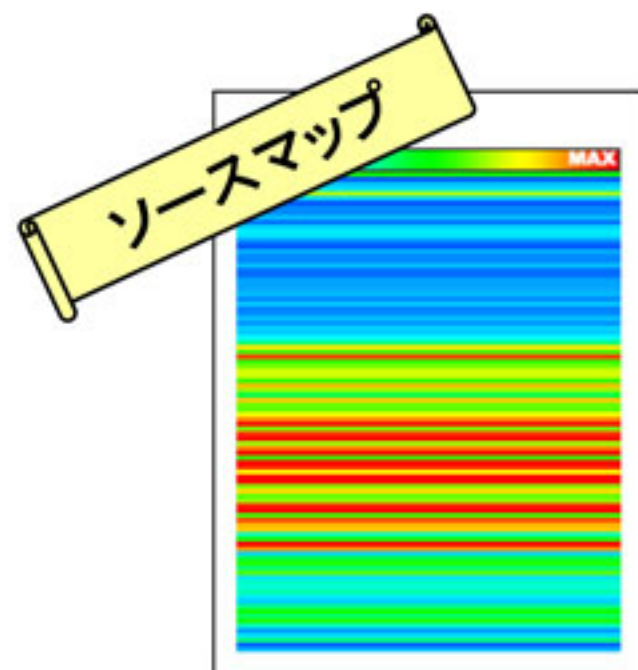
同じサイトでも
インデックス内容が若干違います
☆細かい違いも検出可能！☆

類似度でわかること

- ・ 自分のサイト内容が他のサイトに使われていないか
 - ・ 自分のサイト内の別ページが順位に影響しているかわかる
 - ・ 類似度が高いサイトに順位が食われていないか
 - ・ 同一業者が作った類似ページの発見に繋がる
 - ・ 同じ商品を取り扱っているショップサイトがわかる
 - ・ 内容が近い見込みクライアントの発見
 - ・ 類似関係が多い場合は目安の一つとしてSEOが安易な場合が多い
- Etc...

意図しない順位損失からサイトを守り、オリジナリティの高いサイトに！

アドバイスだけでは見えない**寒さ**（弱点）を克服



今までWEB業界でみられたヒートマップ表示手法を使ったツールはアクセス解析等と連動しており、ユーザーのリンククリック回数などから行動分析を行う手法が主でした。

SmoothSeoのヒートマップ（以下ソースマップ）はユーザーではなくロボット（検索エンジン）の視点で重要な部分とそうではない部分のビジュアル化を行なっているため、マーケティングやSEOの課題をピンポイントで発見することが可能です。

ソースマップの最大の特徴として、ページ単体の重要度ではなく、検索結果の中での重要度の表示を行えます。この機能の実現は、検索エンジンがコアシステムとなっているSmoothSeoだからこそ可能です。

また、SmoothSeoに入力するサイトだけではなく、SmoothSeoの仮想検索結果に表示される最大1,000件の結果からもソースマップの表示が行えるので、ライバルサイトのソースマップ解析はもちろんのこと、下位のサイトの傾向分析など、利用シーンが限られません。

マウスオーバーでソース位置の概要テキストを表示できるので、どの位置が問題になっているのかひと目でわかるのも特徴です。

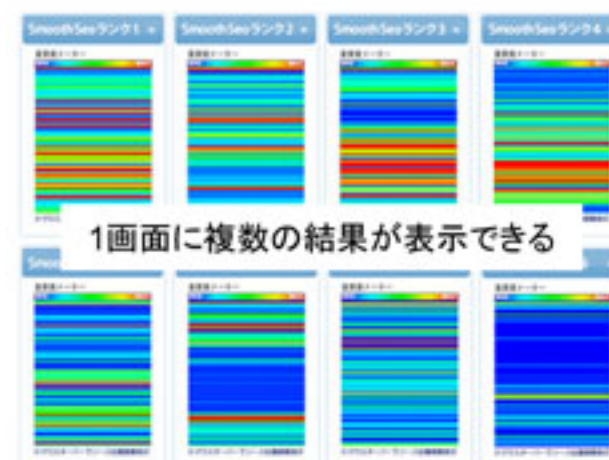
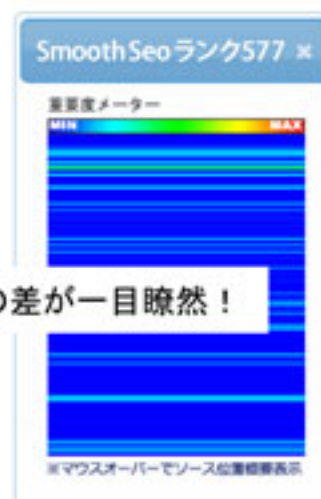


ネットサービス自分と同姓同名の人の数を調べる...

気になる場所にマウスを移動すると
ソース内の概要が表示されてわかりやすい



上位と下位ページの差が一目瞭然！



1画面に複数の結果が表示できる

他のサイトも参考にして**寒さ**（青）を克服して**ホット**（赤）に！

「あったらいいな」をカタチにするSmooth Seoラボ

SmoothSeoの正式機能ではないけれど、あれば便利なかゆいところに手が届くツールを公開していくのがSmoothSeoラボです。
様々なサイトの情報を保有するSmoothSeoは、そのデータを使って様々なデータを取得できます。
その中で、お客様の声で生まれた「これがほしい」「あれがほしい」といったものをカタチにしていきます。

同一キーワード間のG順位比較TOP100

順位	変化	URL	順位
1	—	ワールドカップ - Wikipedia	0.5%
2	—	ワールドカップのデータベース WorldCup.world	21.0%
3	—	2014年FIFAワールドカップアジア予選	0.4%
4	↑	サッカー 日本サッカー協会	47.4%
5	↓	韓国代表 - 2014年ワールドカップアジア予選 第1戦	—
6	↓	イラン代表 - 2014年ワールドカップアジア予選 第1戦	—
7	↓	日本代表 - 2014年ワールドカップアジア予選 第1戦	21.0%

過去のデータと比較して、順位のアップダウン、大幅にランクダウンしたサイトやインデックスが外れたサイト状況がわかるので、「なぜ上がったのか」「なぜ落ちたのか」or「消えたのか」の原因特定を強力にサポートします。

また、新規サイトの参入状況がわかるので、参入の激しいキーワード状況（短期間でTOP100が50%以上変動する等）がわかることによって、SEOには向いていないなどを素早く判断することが可能です。

共起語200

共起語とは、ターゲットキーワードと一緒に使われる単語のことです。この共起語を分析することで、ターゲットキーワードの関連性や、ユーザーの検索意図を把握することができます。SmoothSeoでは、共起語200件を表示します。

ターゲットキーワードと一緒に使われる共起語（共に使われるキーワード）を最大200件表示します。

タグクラウド表示で、ひと目で重要な箇所がわかります。ご利用頂くことで、よりターゲットキーワードのテーマに近い内容の濃いサイト作りが可能です。

共起する単語を参考にしながら、文章作成のサポートにご活用ください。

ドメイン's

ドメイン'sとは、ドメインの使用回数や出現数順に表示します。これにより、ドメインの重要性や人気度を把握することができます。SmoothSeoでは、ドメイン's200件を表示します。

仮想検索結果の中に出てくるドメインの使用回数をカウントし、出現数順に表示します。

2013年5月に行われたドメインの多様性優先アルゴリズムの変更時もドメイン'sで検証を行い、メルマガ、Facebookで配信致しました



上記以外にも...

SmoothSeoラボでは新機能実装前の動作試験やご希望があった機能の実装を不定期に行なっています。ご要望があればお気軽にお問い合わせください。